

1 戦没者戦災死没者之慰霊碑



基本情報

所 在：千葉市桜木霊園
 住 所：千葉県千葉市若葉区桜木1-38-1
 (JR千葉駅より 京成バス「市営霊園」下車 徒歩1分)
 建 立 者：千葉市
 建 立 年：昭和48年2月28日
 連 絡 先：千葉市 保健福祉局 地域福祉課 043-245-5218 (直通)

碑 文

【表】

戦没者戦災死没者之慰霊碑

【裏】

昭和四十八年二月二十八日建立

千葉市

2 殉國者之墓碑



基本情報

所 在：川崎安房堂内
 住 所：千葉県館山市正木1394-1
 （JR館山駅より 館山日東バス「川崎」下車 徒歩5分）
 建 立 者：川崎青年団
 建 立 年：昭和34年8月
 連 絡 先：川崎地区町内会 個人宅のため記載せず

碑 文

【表】

殉國者之墓碑

千葉県知事 柴田 等

【裏】

我等川崎青年團は満州事変日華事変及び太平洋戦争等に於て皇國のため殉じた郷區先輩の靈を慰め尚戦列に加はらない被爆區民の靈をも併せ弔ひその冥福を祈ると共に爾後平和を脅かす戦争の惨禍と人命尊重の本義に立つて再びかゝる過を繰返すことのなきを願ひ団員一同の奉仕と熱意とを以てこの墓碑を建立する

昭和三十四年八月 川崎青年團

【靈標板】

川崎地區太平洋戦争犠牲者

（戦没者 個人名）

昭和二十年五月十九日空襲をうけ二十餘
個の爆弾による川崎地區内死亡者

（戦災戦没者 個人名）

鈴木貞良書

3 礎



基本情報

所 在： JR成東駅舎前
住 所： 千葉県山武市津辺305 (JR成東駅すぐ)
建 立 者： 日本国鉄職員有志
建 立 年： 昭和32年8月13日
連 絡 先： 東日本旅客鉄道株式会社 千葉支社 043-284-6833 (代表)

碑 文

【表】

礎

【裏】

昭和二十年八月十三日
十一時五十八分米グラマン機の機銃掃射により成東駅停留中の弾薬積載貨車誘発 鉄道職員十五名将兵二十七名瞬時にして散華し平和の礎と化す
昭和三十二年八月十三日建之

由 来

礎について

昭和二十年八月十三日敵機グラマンの攻撃を受け成東駅構内下り一番線に停留中の軍弾薬積載貨車は十一時四十分、火煙を發した。之を認めた国鉄職員十五名将兵二十七名は、被害を最小限度に止めようと機を失せず、身を挺して貨車の隔離消火に努め、一方旅客及び町民を避難

させたが、必死の健闘も空しく十一時五十八分弾薬はついに爆発して全員、悉く壮烈な最後を遂げ、平和の礎と化しました。昭和三十二年八月、十三回忌にあたりその功績を称え町民並びに鉄道職員を初め、多数の方々の御支援によりここに礎の碑を建立せられました。

4 成東駅爆発惨事の献花式



※写真提供 東日本旅客鉄道 千葉支社

開催概要 (平成26年度)

歳 事 名： 成東駅爆発惨事の献花式
会 場： JR成東駅 礎の碑前
住 所： 千葉県山武市津辺305 (JR成東駅すぐ)
日 時： 平成26年8月13日(水) ※例年8月13日開催
参列者数： 30人
連 絡 先： 東日本旅客鉄道株式会社 千葉支社 043-284-6833 (代表)

式 次 第 (平成26年度)

- 1. 司 会 者 挨拶... 新妻成東駅長
2. 参 列 者 挨拶... 東日本旅客鉄道株式会社 千葉支社 石川社長、山武市 椎名市長、山武市議会 小川議長
3. 献 花
4. 黙 祷

概 要

敗戦わずか2日前の昭和20年8月13日、国鉄総武本線の成東駅下り貨物線に到着した貨車6輛のうち、4車輛には偽装網に隠された高射砲4門と、2車輛に弾薬が積載されていた。その日は早朝から空襲警報が発令され、米海軍機動艦隊艦載機による機銃掃射の攻撃が絶え間なく続き、特に成東駅への攻撃は、執拗なまでの激しい攻撃であったそうです。

そして午前11時40分頃、グラマンF6F戦闘機4機による機銃掃射で、1輛の弾薬貨車が引火、激しく煙をあげはじめた。駅長以下の国鉄職員と駅の要請により、駆けつけた九十九里沿岸防備の近衛第3師団近衛歩兵第8連隊第3824部隊の将兵たちは、弾薬爆発と機銃掃射の危険のなか、必死に消火作業に努めたが、火勢は一向に衰えをみせなかったため、最後の手段として引火貨車を切り離し、弾薬貨車を駅の構外(松尾方面)へ機関車で牽引して、住民や駅待機の乗客、民家や駅舎などを爆発の被害から守ろうとしましたが、午前11時58分頃、弾薬貨車は大音響とともに爆発し、駅舎も貨車もすべて吹き飛ばされ、懸命に消火作業をしていた駅職員15名、範部隊将兵24名、将兵3名、計42名の尊い命も失いました。

殉職した駅職員の中には14歳の少年職員や、若い女性職員など20歳未満の職員が9名おりました。

この惨事の体験者が少なくなる中、今に生きる私たちが、平和の尊さ、戦争の悲惨さを語り継ぎ、惨事を風化させない思いを込めまして、献花式を執り行います。

5 恒久平和祈念の碑



基本情報

所 在： J R内房線 安房勝山駅～岩井駅間 南西側
 住 所： 千葉県安房郡鋸南町下佐久間 市部瀬
 (J R安房勝山駅 徒歩20分)
 建 立 者： 明日の鋸南町を考える会、賛同者有志
 建 立 年： 平成23年5月8日
 連 絡 先： 明日の鋸南町を考える会 個人宅のため記載せず

碑 文

【表】

恒久平和祈念の碑

【裏】

昭和二十年五月八日 安房勝山駅午前十一時五十分発下り列車が市部瀬を通過中 米軍機の機銃掃射をうける

死 者 十 三 名
 負 傷 者 四 十 六 名

この惨事を 碑に記し 後世に伝える
 平成二十三年五月八日

明日の鋸南町を考える会
 賛同者有志 建立

6 市部瀬の惨劇の犠牲者を偲ぶ献花の会



※写真提供 明日の鋸南町を考える会

開催概要 (平成26年度)

歳 事 名： 市部瀬の惨劇の犠牲者を偲ぶ献花の会
 会 場： 恒久平和祈念の碑 前
 住 所： 千葉県安房郡鋸南町下佐久間 市部瀬
 (J R安房勝山駅 徒歩20分)
 日 時： 平成26年5月8日 (木) ※例年5月8日開催
 参 列 者 数： 60人
 連 絡 先： 明日の鋸南町を考える会 個人宅のため記載せず

式 次 第 (平成26年度)

1. 開 会
2. 挨拶…明日の鋸南町を考える会 安藤恵美子会長
3. 献花
4. 閉 会

式 辞 (平成26年度)

2000年の秋『明日の鋸南町を考える会』が誕生し、鋸南町について話し合い、考え、活動を続けるうちに戦争と平和についても考えるようになりました。鋸南町にも市部瀬の列車銃撃事件のような悲惨なことが起きていたことを知らない人が多いことがわかりました。そこで、戦後65年を機会に2010年5月8日、65年前を偲んで市部瀬の列車銃撃事件の現場で献花をし、参加者と話し合いたいと思いました。そして列車銃撃事件を語り継ぐために現場に木の柱でも建てたいと募金活動を計画しました。祈念碑建立委員会を立ち上げ、改めて募金をして多くの方々のご協力を頂き2011年5月8日に『恒久平和祈念の碑』の除幕をすることが出来ました。

ここで多くの犠牲者が出た列車銃撃事件があったこと、この犠牲を無にしてはいけません。本当に平和な世の中を築いていかなければならないと活動を続けて参りました。

戦争も平和もみんな一人ひとりの心の中から生まれてくるものだと考えております。誰でも十分に話し合い相手の気持ちを受け入れ、許し合い愛し合っていくところに平和は生まれてくると思います。

難しいことですが、日々の生活の中で互いに許し合い愛し合って平和を創っていきたく願います。

明日の鋸南町を考える会
 会長 安藤 恵美子

出典：「平和の願い」より抜粋